



いこう

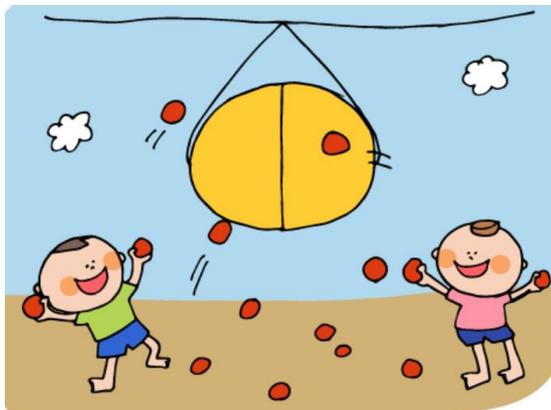
龍のように150!! 勝利めざして 最後まで

4月24日(水)に本校児童会の「代表委員会」が開催されました。議題は「運動会を盛り上げるためにスローガンを考えよう」です。4年～6年生の学級代表が、それぞれの学級で決まったスローガンを提案し、話し合いが活発に繰り広げられました。5年生からは、猪調小創立150周年を記念して、150を使ったスローガンで盛り上げようという提案があり、見事採用されました。150を「いこう」と読ませているところが味噌ですね。

創立150周年を記念する素晴らしいスローガンのもと、子どもたちのみならず、本校の卒業生や保護者、地域の方々の笑顔が輝く運動会にしていきたいと思います。



5月15日(水) 総練習の様子

○ 運動会当日のお知らせ

プログラム9番「創立150周年記念鈴割り」では、まずは子どもたちだけで、お手玉を投げて鈴割りをします。赤白各50人で一斉に投げて割れたらいいのですが、なかなか割れないようでしたら、保護者や来賓、地域の皆様にも協力して、みんなで割っていただきたいと思います。特別にお手玉を準備しますので、一人1個ずつお持ちになり、狙いを定めて思いっきり投げてください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

学校探検に出発!

5月2日(木)に、2年生が1年生を連れて学校探検を行いました。入学して間もない1年生に、2年生が先輩として学校のいろんな場所を説明して回りました。分かりやすく説明するために、2年生は前もって説明のカードを書いたりして準備していました。チームごとに校長室も訪れてくれました。緊張しながらも、一生懸命に説明をする2年生がとってもかわいかったです。



「放課後子ども教室体験ツアー」の様子が記事になりました。

4月19日（金）に実施した「放課後子ども教室体験ツアー」が5月9日（木）の長崎新聞の記事になりました。記者のインタビューに「地域の人と一緒に繭玉を作れて楽しかった」と答える子どもと「放課後子ども教室は、生きがいを感じる楽しい場所」と答えておられる地域の方。よい取り組みになったなど実感しています。

これからも、「つながり」を大切にして、学校運営を進めていきたいと、思いを新たにしました。

繭玉作りや和太鼓など学ぶ



地域住民である講師の手ほどきを受けながら繭玉作りを楽しむ児童
|| 佐世保市立猪調小

住民らと交流楽しむ

佐世保・猪調小 体験ツアー

佐世保市江迎町の市立猪調小（吉田春樹校長、100人）で、「放課後子ども教室体験ツアー」があり、全校生徒が地域の人から繭玉作りや和太鼓の放課後の居場所づくり

や地域住民らとの交流の場づくりを目的に2005年に設置。現在は週2回、講師の地域住民が来校し、お茶やソフトバレーなどを教えている。ツアーは同教室の利用促進を図ろうと実施した。

児童は学年混合の班に分かれ各種目が行われている場所を回って体験。繭玉作りの教室では講師の手ほどきを受けながら、発泡スチロールの玉に布を入れ込んでいくなどして繭玉を完成させた。

6年の崎辺紗良さん（11）は「初めて繭玉を作った。地域の人と一緒に作れて楽しかった」と笑顔。講師の前田アサミさんは「教室は生きがいを感じる楽しい場所。たくさんの子どもが参加してくれたらうれしい」と話した。

（堀内優子）